

2025 年米国バイオエタノール低炭素化カンファレンス 講演者略歴



ジーン・ベイリー氏

米国大使館農務担当公使

1987 年に米国農務省海外農務局入省以降、ベトナム、メキシコ、フランス、インド、ワシントン DC で勤務する。2020 年 8 月から日本着任前までは、本省海外農務局通商政策・地域部の次長、それ以前には在インド米国大使館で農務担当公使、本省国際地域課次長、外交部西半球担当シニア・ディレクターなど、国際関係のポジションを長年務めた。

イリノイ州出身。イリノイ大学シャンペーン・アーバナ校で農業経済学の修士号と農学の理学士号を取得。



シュテフェン・ミュラー博士

イリノイ大学シカゴ校・エネルギー資源センター

主任エコノミスト

ミュラー博士はイリノイ大学シカゴ校のバイオエネルギーおよび輸送排出研究グループを率いている。主な研究活動は、さまざまなバイオエネルギーおよび電気自動車の経路のライフサイクル排出量分析、ならびにエネルギー供給網の持続可能性評価に焦点を当てている。ミュラー博士は、ライフサイクル分析に関する 40 以上の査読付き論文を発表している。カリフォルニア州低炭素燃料基準制定時の土地利用に関する専門家ワーキンググループのメンバーを務めた。2021 年、2022 年には、低炭素輸送燃料のライフサイクル分析のための現行手法に関する全米科学アカデミー委員会の委員を務め、2013 年からは、国際サステナビリティとカーボン認証（ISCC）の理事を務めている。イリノイ大学シカゴ校でエネルギー政策の博士号を、ドイツのカールスルーエで MBA と環境工学の学士号を取得している。



コリン・ワターズ氏

イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会 輸出・物流ディレクター

コリン・ワターズは、2019 年 7 月にイリノイ州トウモロコシマーケティング委員会に従事する以前、モンタナ州農務省に 14 年間勤務し、直近ではモンタナ州小麦・大麦委員会の副会長を務めた。イリノイ州アルファで育ち、ウェスタンイリノイ大学で農業科学の理学士号と農業経済学と国際ビジネスを専攻した経営学修士号を取得し、長年にわたり日本政府および産業界と協力

している。ブルーミントン在住。



マット・レーベン氏
イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会

イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会の第13地区ディレクターを務めており、クレイ郡、エドワーズ郡、ジェファーソン郡、ローレンス郡、マリオン郡、リッチランド郡、ワバッシュ郡、ウェイン郡、ホワイト郡を担当している。次世代の農業の世界を形作る手助けをする責任を感じている。職務において、管轄地区のメンバーに対し、活動やプログラムに関する透明性と情報を提供したいと考えている。最も楽しみにしているのは、イリノイ州の他の農家と出会い、学ぶ機会である。サザン・イリノイ大学にて農業経済学の学士号・修士号を取得。農場復帰前はバンジ・ノースアメリカ及びルイ・ドレフュス社に15年間勤務し、穀物商業管理やアドバイザー業務を多岐にわたり担当。在職中にはバンジ・サウスアメリカ（ブラジル）での海外勤務経験もある。イリノイ州ホワイト郡およびギャラティン郡でトウモロコシと大豆を栽培している。



シェーン・グレイ氏
イリノイ州トウモロコシ生産者協会

イリノイ州モーガン郡で生まれ育ち、故郷のウェイバリーに53年間暮らしている。現在は息子ブレイディと義父ボブ・ジョンソンと共にモーガン郡とサンガモン郡で大豆とトウモロコシの栽培を行っている。また、ジョンソン・リスクマネジメント作物保険サービスの所有者兼代理人を務めており、同社はイリノイ州中部の14郡の農家向けにリスク管理サービスを提供している。1988年にウェイバリー高校を卒業後、1993年にイリノイ州立大学に進学し社会科学教育を専攻。農業分野でのキャリアを始める前は、公立教育機関で25年間教職と管理職を歴任。現在はウェイバリー市協会第1区市議会議員、およびミッドウェスト・トラッカーズ協会中部諮問委員会委員を務めている。



ロン・ランバーティ氏
アメリカン・エタノール連合（ACE）最高マーケティング責任者

ACEの会員および業界関係を担当している。またACEの市場開拓活動を指揮し、石油販売業者と連携して全国的なエタノール利用の促進に取り組んでいる。



トレーシー・A・メンケ氏
ネブラスカ州再生可能燃料協会

再生可能燃料ネブラスカのオペレーションディレクターとして、ネブラスカ州のエタノール産業における政策立案、会員関与、プロジェクト管理を指揮している。オーロラ協同組合での職務、および米国上院議員デブ・フィッシャーのキャピトルヒルスタッフとしての職務を経て、農業および公共サービスにおける豊富な経験を有している。戦略的思考、強い職業倫理、そして業界を超えた人とアイデアをつなぐ能力で知られている。ネブラスカ大学の卒業生であり、ハスカーズの熱狂的なファンであり、最近ではネブラスカ LEAD プログラムの第 42 期を卒業した。